

請願第1号

件名 加齢性難聴の補聴器購入の助成を求める請願

請願者



紹介議員 羽曳野市議会議員 南 玲 渡辺 真 千

【請願趣旨】

少子高齢化社会がすすむ日本では、社会の活性化には高齢者の社会参加がこれまで以上に活発にならなければなりません。高齢者の加齢性難聴による機能の低下は、日常生活が不便になりコミュニケーションを困難にするなど生活の質を落とす要因となり、うつや認知症の危険因子となっています。加齢性難聴者にとって補聴器は、高齢になっても生活の質を落とさずに心身とも健やかに過ごすことができ、認知症の予防、ひいては健康寿命の延伸、医療費の抑制にもつながるため難聴者への聞こえの支援は重要な課題です。

「加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度の創設を求める議会の意見書」採択は2024年6月議会で採択した奈良県議会(全会一致)で10府県341市町村議会(2024.10現在)、市町村独自の公的補助制度創設自治体は全国で372市区町村自治体(24.10.31現在)と大きく広がってきています。全国市長会では、介護保険制度の提言の中で「加齢性難聴者の補聴器購入に対する補助制度を創設すること」を採択し国に要望しています。

羽曳野市においても加齢性難聴者の補聴器購入に対する助成制度の創設をされるよう求めます。

【請願項目】

1. 加齢性難聴者の補聴器購入に対する市の助成制度を創設すること。
2. 高齢者の難聴を早期に発見できるよう取り組みをすすめること。

令和7年2月14日

羽曳野市議会

議長 通堂 義弘 殿